

(様式第4号)

上田市庁舎改修・改築検討委員会 会議概要

|             |   |
|-------------|---|
| 1 審議会名      | 上田市庁舎改修・改築検討委員会   |
| 2 日時        | 平成29年6月28日 午後1時40分から午後3時45分まで   |
| 3 会場        | 上田駅前ビルパレオ2階会議室  |
| 4 出席者       | 高木直樹会長、丸山正明副会長、伊藤英一委員、小野将司委員、金井美奈子委員、杓掛由利子委員、小山陽三委員、藤川まゆみ委員、不破泰委員、宮本智夫委員  |
| 5 市側出席者     | 清水庁舎整備担当参事、海瀬行政管理課長、田村建築課長、柳原総務課長、鎌原政策企画課長、清水情報システム課長、宮澤危機管理防災課長、倉島財政課長、若林庁舎整備室長、梅原建築担当係長、小林庁舎整備担当係長、宮原庁舎整備担当係長、渡辺行政改革担当係長、市村行政管理担当係長、吾妻庁舎整備室主査、野田建築課主任、坂口庁舎整備室主任 |
| 6 公開・非公開    | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開   |
| 7 傍聴者       | 1人 記者 4人  |
| 8 会議概要作成年月日 | 平成29年7月7日   |

協 議 事 項 等

|   |
|---|
| 1 開 会 (海瀬行政管理課長)  |
| 2 報告事項<br>(1) 第9回検討委員会について<br>・資料に沿い、5月22日(月)に開催した第9回検討委員会の会議概要について若林庁舎整備室長から報告   |
| 3 検討及び協議事項<br>(1) 新本庁舎の機能について<br>・資料に沿い、若林庁舎整備室長から新本庁舎の機能について説明<br>・以下、協議<br><br>②防災機能について<br>(委 員)・ライフラインが途絶えた場合のバックアップ機能について、現在はどのようになっているか。<br>(事務局)・現庁舎については、建築基準法、消防法上必要になる機能として、主に蓄電池で非常用の照明をつけるとか、消火栓を回すときの非常用発電機が動くというような最低限の設備としての備えとなる。また、3階の一部に限られるが、非常用発電機が回って電力を確保することができるという程度の備えになっている。<br>(委 員)・蓄電池は、常に充電をしておくというような形で、それは何事もなければまったく使用せずに置いてあるということか。<br>(事務局)・常に充電されていて、何かあったときにはそこからの電力を使うことになる。ずっと使わないと、10年、15年すると電池が寿命になるので、交換するという事になっている。<br>(委 員)・発電機と蓄電池の連携はしているのか。<br>(事務局)・別途、独立した設備である。<br>(委 員)・今度の構想は、現状、書き様はあまり変わらないような気がするが、もう少し整備をする、量を増やすといったようなイメージは持っているか。<br>(事務局)・現在、具体的な内容を庁内の検討会で検討しており、それがはっきりしたら、それを記載していきたいと考えている。<br>(委 員)・現在の庁舎よりも省エネタイプの建物になるので、どのぐらい省エネできるかということのを計算されると思うので、その辺りもまた伺えればと思う。<br>(委 員)・長野市役所には、スクリーンがあって、現場の中継ができるようになっているのを見せてもらったが、新庁舎にはそのシステムを持ってくるということか。 |

(事務局)・長野市のようなものはかなり手厚い設備で、どこまで入れられるか、検討しているところである。

(委員)・ケーブルテレビで画像を流しているようなシステムはかなり安くできるのではないかと思う。

(事務局)・そういうものを集中的にやるようなものは最低でも必要になると思う。また、現場との連絡は、あまりしっかり管理できていないので、それをしっかり機能させるような形で考えていければと思っはいる。ただ、長野市のようなものはなかなか難しい。

(委員)・災害に対しては全面的に画像を流すという話になっていると UCV で聞いた。地域に密着したケーブルテレビのライブカメラなので、主要なところだけでなく、各地区の主なところを映してもらえば、市民とすれば情報がすごく手に入るのではないかと思う。

(委員)・実際に災害があったときには、ライブカメラではなく、現場の実況ということでいいか。

(事務局)・今でも UCV、あるいは道路は長野国道事務所、あるいは河川だと千曲川河川事務所、そういった国の機関、あるいは県のカメラも情報としてはある。そういったものを有機的につなげた形にしていければと思っている。

(委員)・5 ページの対策本部機能に必要な情報受発信設備をというところは、建物というよりも、そのあとのネットワークの構成をどうするかということところだが、例えば、総務省が進めている Lアラート(災害情報共有システム)との接続点をどのようにするのか、県 WAN (wide area network 広域ネットワーク)との関連をどのようにするのかなど、その辺りを少し早めに方針を決めて設備にも少し反映させた方がスムーズだと思う。

(会長)・災害対策本部機能で「平常時は会議室兼用として使用します」ということは、「普段は会議室として使っていて、いざ何か起きたときにはそこで本部を働かせる」という意味で、上田市で考えているのは、常設ではないという意味になるのか。

(事務局)・常設してディスプレイを置いたり、情報受発信設備を備えるが、そういう部屋を設けても、普段はあまり使うことはないので、平常時は会議室として併用して使いたいということである。常設だが、会議にも使えるという考え方である。

(会長)・9 ページに、「食料や飲料水の備蓄や保管が可能なスペースを確保 (3 日以上分)」とあるが、3 日分というのは、避難所となる二中の分は除いて、市役所の機能を維持させていくために 3 日分という意味で書かれているという理解でいいか。

(事務局)・災害対策本部機能を維持するための食料・飲料水の 3 日分と考えている。

### ③事務機能について

(委員)・セキュリティについて、非常に適切な記述だと思う。ただ、これは設備だけで成り立つものではなく、職員へのセキュリティに対する啓蒙や教育というものと合わさらないと、設備だけあっても何にもならないので、その辺りも検討してほしい。

(会長)・「休日・夜間などの閉庁時の利用を考慮した」というのが出てくるが、休日・夜間などの閉庁時に市役所の機能として、どういった機能を開放するのか考えているか。

(事務局)・まだ、どの部分を開放するかということが定まっていないが、現庁舎の状況だと、年度末、年度初めに、休日に 1 階の市民課だけ業務が行われていることがある。

(会長)・いわゆる戸籍とか死亡とか出生とか結婚など、休日なしで受けている機能があり、それを今回も継続するという意味で書かれていると思っはいいのか。

(事務局)・継続する場合があるので、エリア分けや、管理上できるようなことを考えたいということである。

・長野市は、シャッターが下りるような形になっていたと思うが、そういうものが具体的に検討材料になるだろうということである。

(委員)・窓口の関係はオープンになるが、オープンだと、例えば福祉の関係など、個人の、他人に聞かれては困るような相談をするスペースというのは、打ち合わせスペース・作業スペース等というところを使うという考え方か。

(事務局)・相談室については、今回は提案させていただいていないが、窓口機能という中で検討してお

り、当然、相談スペースや相談室も整備したいという考え方である。窓口に関しては、市の考え方がまだまとまっていないので、次回の検討でお願いしたい。

- (委員)・防犯カメラ等を庁舎の中に設置していくという考え方でいいか。
- (事務局)・まだ決まってはいるが、防犯カメラについても検討はさせていただく。
- (委員)・基本的には、市役所はオープンな空間でということだが、仕事をする方にとっても、仕事ぶりを全部見えるのがやはりいいのか。働かれる方にとっての感覚を教えてください。
- (事務局)・窓口の部門では、もう少し見えないような工夫も欲しいという意見は出てはいる。ただ、執務スペースはできるだけコンパクトにという中では、間仕切りをしないでオープンにしたほうがいいという考え方である。セキュリティ上、個人情報があるような書類は見えないように配慮しなければいけないという意見は出ているが、基本的には、できるだけオープンの方がいいのではないかと多い意見が多い。部署によっては、必要に応じて仕切る部署もある。
- (委員)・将来的に、少子高齢化等で、職員数少なくなり、事務室もいらなくなってくるとすることも考えられる。そういうところを将来的には会議室に変えられるというようなことも頭の中に入れて進めてもらえるといいと思う。
- ・建物の天井の高さが、高い方がいいとか、その辺の考え方はどうなっているか。
- (事務局)・会議室については、今も少し足りない状況もあるが、実際の利用状況を調査して、本当に必要な会議室を配置したいというところである。将来的にうまく事務室に転用できるかどうかは、場所も含めてわからないが、今後、検討させていただければと考えている。
- ・天井の高さは、現在の庁舎が天井高 2.6メートルあり、今もそんなに低いという感じはしていないが、最近の庁舎の例をみると 2.7~2.8メートルぐらいの天井高をもっているのもう少し高くなればというところである。
- (委員)・会議室、文書庫などは天井高が高くなくても十分だと思う。その辺の総合的なレイアウトもまた考えてもらえればと思う。
- (会長)・今の質問としては、市役所の中で、市役所の方と市のことを検討する会議室は当然必要だが、将来的にそのうちのいくつかは、市の会議ではなく、例えば、ボランティア団体が打ち合わせ会議を持ったりするときの会議室に貸し出せたりするような転用のことも考えてほしいという意味で聞いたのだらうと思う。
- (事務局)・そういったものまでできるかどうかは、今後、規模とのせめぎ合いになる。将来的には転用できるようなことも考慮した形で考えるのは重要なことかもしれないと思う。
- (会長)・設計に入る前に文書管理の方法の方向性を出せると、例えば、文書管理のスペースが、100㎡必要なものが、10㎡で済むということもあり得るので、急がなければならないことの一つではないかと思うので、庁内で検討してほしい。
- (事務局)・本庁舎の建設と併せて、公文書館という施設を立ち上げることで進めており、古い資料については、そちらに移管をしていくという形で考えている。ファイリングシステムはもちろん、電子化にして、極力ペーパーレス化を図る、また、同じ資料は統一を図るというようなやり方で、文書管理のあり方も併せて検討していきたいと思っている。

#### ④議会機能について

- (委員)・「ユニバーサルデザインにより整備します」という記載があるので安心しているが、傍聴席のみならず、議員の方も車いすであったり、様々な障がいのある方もいらっしゃる想定するならば、やはり、フリーアクセスにして、車いすの方もどこにでも移動できるようなものを検討してほしい。
- (委員)・議場は基本的にはやはり最上階になるのか。
- (事務局)・今回の計画はどうしても高さなど、建てられる範囲がかなり限定されるので、議場の天井高が、4メートルから5メートルぐらいのものを造らなければいけないということになると、どうしても構造上、上の方に行ってしまうというのが通常の場合である。
- ・県庁のように別棟に建てるのであれば低層に持っていくことは可能かと思うが、別棟でうまく配置できるのかということもあるので、今後、検討をしていきたいということである。

- (委員)・上田市の場合だと、議場は年に4回しか使わない。しかし、会議室、会派室は毎日使うということなので、天井高を4メートル、5メートルとらなくてはいけないのか、3メートルでもいいのではないかとか、いろんな考えがあると思うが、その辺のところはぜひ精査してもらいたいと思う。
- (事務局)・議員の皆さんも、今の議場も踏まえて、今度造るものはどういったものがいいかと研究していて、今日も視察に行っているということを知っている。
- ・また、委員会室、図書室、応接室、セキュリティの関係といったものを議員の皆さんからアンケートをとって意見を聞いて検討されるという話も聞いている。
  - ・ただ、面積がまだ確定しなかったり、配置がうまくできるかとかいう問題があるので、こうやったほうがいいと言われたものがそのままできるかどうかは、これから協議してということになる。
- (会長)・議場はどうしても権威的な立派なところを造りがちになって、利用頻度は高くなく、そのわりに予算がすごくかかっていたりする。議員さんが権威があるのは選挙で選ばれているから権威があるわけで、会議室が偉いから権威があるわけではない。
- ・やたらに議場は立派だというよりは、市役所全体がバランスよくというのが大事だと思うので、今回、予算的にも非常に厳しいという事情もあるので、議場整備のために予算をとられるのは少し残念だという気はする。
- (事務局)・市の議場関係の執務室の面積も、今が800(m<sup>2</sup>)ぐらいで、総務省基準だと1,050m<sup>2</sup>という数字が出る。今の市役所の面積が8,600(m<sup>2</sup>)で、事務スペースとして10,000~13,000(m<sup>2</sup>)ということを決めてあり、その割合が1.1なのに議場だけ1.3というような割合になるのは普通に考えれば厳しいのではないかとということで、ある程度節度のある中で検討してくださいというようなことを議会の研究委員会の中でも申し上げてはある。ただ、どういう機能にするのかというのがまだ出てこないで、これから協議させてもらうということになるかと思う。
- (委員)・議場を会議室にするというのはいろいろな意見があるのかもしれないが、天井の高さを4~5メートルではなく、3メートルぐらいにするとか、工夫をすることで費用がだいぶ変わってくると思うので検討してほしい。

#### ⑤付帯機能について

- (委員)・人が集まるような仕組みが少ないと思う。
- ・せっかく造るので、7日間のうち5日間だけ使う庁舎ではなく、7日間のうち7日間できたら使ってもらえるように、人が集まるような市庁舎を造りたいと思う。例えば、ピロティのような、ピロティでなくても、半外のような機能の場所であっていいと思う。
  - ・上田駅から上田城に行くルートに市役所があるので、観光客もふらっと寄れるようなパブリックスペース、人が集まるような仕組みを考えてもらいたいと思う。
- (委員)・飲食スペースについて、需要に見合った機能や規模を検討ということだが、需要というのは、職員と、庁舎にちょうどお昼時に来られた方というぐらいの需要か。それとも、もう少しオープンな、市役所に食べに行くようなイメージか。
- (事務局)・職員と市民の皆さんも含めた需要である。食べるスペースは必要だが、食事を提供する飲食のスペースが必要かどうかという需要を考えている。
- (委員)・以前、自転車に乗る街づくりということがあったと思うが、全国いろいろな街に行くと、レンタサイクルの乗り捨てのポイントがいろいろな箇所があり、そこで乗り捨てられるような仕組みになっている。例えば、上田城とか市役所とか駅はもちろん、福祉センターなどに乗り捨てのポートを作れば、福祉センターに車を停めて、自転車で市庁舎に来ようとか、そうしたら街も人が流れるし、そういったソフト的な仕組みも考えていけば、自転車に乗って市庁舎にというコンセプトがうまくいくのではないかとと思う。
- (事務局)・検討はしてみたが、ルール化というものが、そこまでいかない段階で止まっているというのが実情である。当然、どういうシステムなら可能かというようなことは検討はするように、

担当する課の方に話はしてみたいとは思いますが、今回の庁舎のところでそこまでは書くのは難しいかと思う。

(委員)・駐車を十分用意しましたということよりは、車で来なくてもいいぐらいの近くの方は自転車という促しをすることで駐車の問題が少しは軽くなるということ、環境的にも、エネルギー的にもいいということから、提案をさせてもらった。市役所がみんなが来る場所であるというようなイメージであれば、自転車は重要なポイントだと思う。

(委員)・近場だけでなく遠くの人、福祉センターとか上田城に車を置いて自転車で来るということもあると思う。

(委員)・7日間オープンな市役所という、人が集う場所ということであれば、食堂もそういう場になるが、そういう機能をもたせるのかどうか議論する必要があると思う。

(会長)・市役所の駐車場に入るときに何かチェックはあるのか。

(事務局)・チェックは無いが、市役所に来た方のための駐車場ですという案内はしている。

(会長)・長野市役所が、いつ行っても駐車場がいっぱいで、駐車場の管理をどうするかというのが大きな問題になった。最初は駐車場を増設しようという方向だったが、市役所に何の用事も無いが、無料の駐車場として市役所の駐車場を使っている車の管理ができていないということで、そのために市役所はたくさんの駐車場を確保しなければいけないというのは明らかに間違いなので、長野市役所は、1時間か2時間は無料で、それを超えると市役所に用事がある人でもお金をとられるという制度にしている。最初のうちは「市役所に用事があるのに金をとるとは何事だ」という批判は無いぶんあったが、いつ来ても止められるようになったというプラス、マイナスの両面があるので、適正規模を真剣に考えないといけないという気はしている。

・他の市役所の事例をそのまま使って、「他の市役所が人口何万人で何台だから、上田が何台」というのは乱暴すぎる議論なので検討をお願いしたい。

(委員)・駐車券を出すことも検討課題の一つに入れてはどうか。

(事務局)・20年か25年ぐらい前に数年間やったが、管理等の問題があって、今の状態にまた戻ったということがある。駐車場の形態、システムが周囲の駐車場全部できるようになるかということまで総合的に考えないとできないので、いろいろ検討させてもらいたいと思う。効果があるとすれば、庁舎管理の立場で考えることが必要になるかと思う。

(委員)・サーバーを自前でやるか、あるいはクラウドにするかという検討も必要だと思う。また、文書管理がデジタル化する方向に変えられるような容量もキープしなければいけないということもあると思う。

## (2) 建設計画について

- ・資料に沿い、若林庁舎整備室長から建設計画について説明
- ・以下、協議

### ①建物構造について

(会長)・予算のを見ると、免震構造が一番費用がかかる。つまり、免震構造にするということは、その分、他が厳しくなるという問題点もついてくると思う。

・今の段階で「免震構造で決まり」と結論付けているわけではなく、「免震構造を基本とする」程度は書くかもしれないが、「免震構造でなければ駄目」というところまでは書かないという説明だろうと理解をしている。

(委員)・免震構造と制震構造、建設費でどのぐらい違うのか。

(事務局)・仮に 10,000 m<sup>2</sup>のものを建てる場合の概算工事費ということで試算した場合、耐震構造を1とすると、制震構造が 1.05 倍、免震構造が 1.1 倍のコスト差になる。

(委員)・免震構造の中でも、基礎に免震をやる場合と、途中の階でやる場合など、いろいろなやり方があるが、それは構造上の問題か、それとも経費の問題か。

- (事務局)・経費の問題もあるかとは思いますが、機能をどこまで持たせるかと、構造の問題もあるかと思う。免震装置を基礎の一番下に挟むのが基礎免震で、中間免震は、例えば、地下や1階をしっかり造っておいて、その上に免震装置を置いて、そこから上は軽い構造で造るということである。そうすると、地下や1階は免震の効果はないが、2階以上が免震構造になっていれば、その対策本部は業務継続できるということで設計の中で決められるかと思う。
- (会長)・基礎免震にして建物全体を守る方が普通だろうとは思っている。
- (委員)・ほとんど免震構造なのに耐震構造を選んでいる自治体もある。理由がわかれば教えてほしい。
- (事務局)・飯田市は、既存の庁舎の横に新しい庁舎を造って、渡り廊下で既存の庁舎とつながっていたので、その影響を考慮し、不可能ではなかったかもしれないが、経費の問題もあってたぶん耐震構造にしたと思う。また、階数が3階という低い建物構造なので、影響も通常より少ないということがあったのかと思う。他の市でも耐震構造を採用した市も中にはあるが、経費の問題かと思う。
- (委員)・免震構造がいいと思うが、免震ゴムの耐用年数はどのぐらいか。
- (事務局)・実際のところは検証はできていないが、建物の耐用年数を仮に60年とした場合に、ゴム自体も同じような年数は持つのではないかとされている。
- (委員)・10年とか20年で取り換えなければいけないということは無いということでもいいか。
- (事務局)・交換することは無いと聞いている。実際に交換した事例はほとんど無いということである。
- (委員)・地元の木を一部でも仕上げ材なり、構造の一部とか、木造に見えて鉄骨造とか、いろいろ使い方はあると思うが、できれば地元の木を使ってもらいたい。
- (事務局)・基本設計のときに入れるかどうか検討したい。

## ②事業手法について

- (委員)・ECI方式の場合は施工業者が実施設計段階から参加するという事になっているが、この場合の入札方法はどのようになるか。
- (事務局)・現在行われている方法を見ると、主に、プロポーザル提案による選定、または総合評価方式という二つの方法で、実施設計が終わる前に基本設計を元にした内容について提案を求め、また金額の算出もしてもらいながら、どちらかの方法で決めるという方法がとられている。
- (委員)・公共直営方式は従来方式、ECI方式、DB方式の3つがあるが、単価の問題はまったく同じか。
- (事務局)・ケースによって様々で、どれが一番有利かはなかなか判断できないが、一般的には入札の競争という中ではコストは下がるという可能性は大きくある。ECI方式、DB方式は、設計段階に施工者が参加するので、施工者の独自技術で最初から安く設計をあげることができる可能性がある。ただ、入札がなくなるので、競争は望めなくなるということで、それぞれメリット、デメリットがある。民間のノウハウを活用するという意味ではDB方式や、ECI方式の方が有利ということである。期限が決まっている中で、入札不調が一番頭を悩まされることにもなるので、トータルで考えていきたいと思っている。
- (委員)・この検討委員会やいろいろなところで意見が出て、いろいろなものを加味しながら、決めるということでもいいか。
- (事務局)・発注者である市が主体的に決めるべきだろうとは考えている。ただ、それも市民や議会に対しても説明できるようなものを、理由をしっかり付けて、決めていきたいと考えている。

## 4 その他

- ・7月7日、18時からゼロエネルギービルディングと地域づくりに関する勉強会が開催される。
- ・本日の検討委員会終了後、17時から情報セキュリティの勉強会が開催される。
- ・7月4日、15時から合同庁舎南棟で、まちづくりワークショップが開催される。
- ・次回、第11回の検討委員会は7月18日(火)または19日(水)の午前中に開催する。
- ・第12回の検討委員会は8月2日(水)の開催を予定したい。

- ・第13回の検討委員会は8月21日（月）の開催を予定したい。
- ・9月に議会への報告、パブリックコメント、市民説明会等を開催した上で、第14回の検討委員会を10月中旬に開催したい。

協議結果：○今回の検討委員会が出された意見も踏まえ、庁内での検討内容と併せ、新本庁舎の機能について基本計画に記載する。

○建物構造については免震構造を基本とする。

○事業手法については公共直営方式の中から、それぞれのメリット、デメリットを総合的に検討し、最適な手法を選択する。